

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



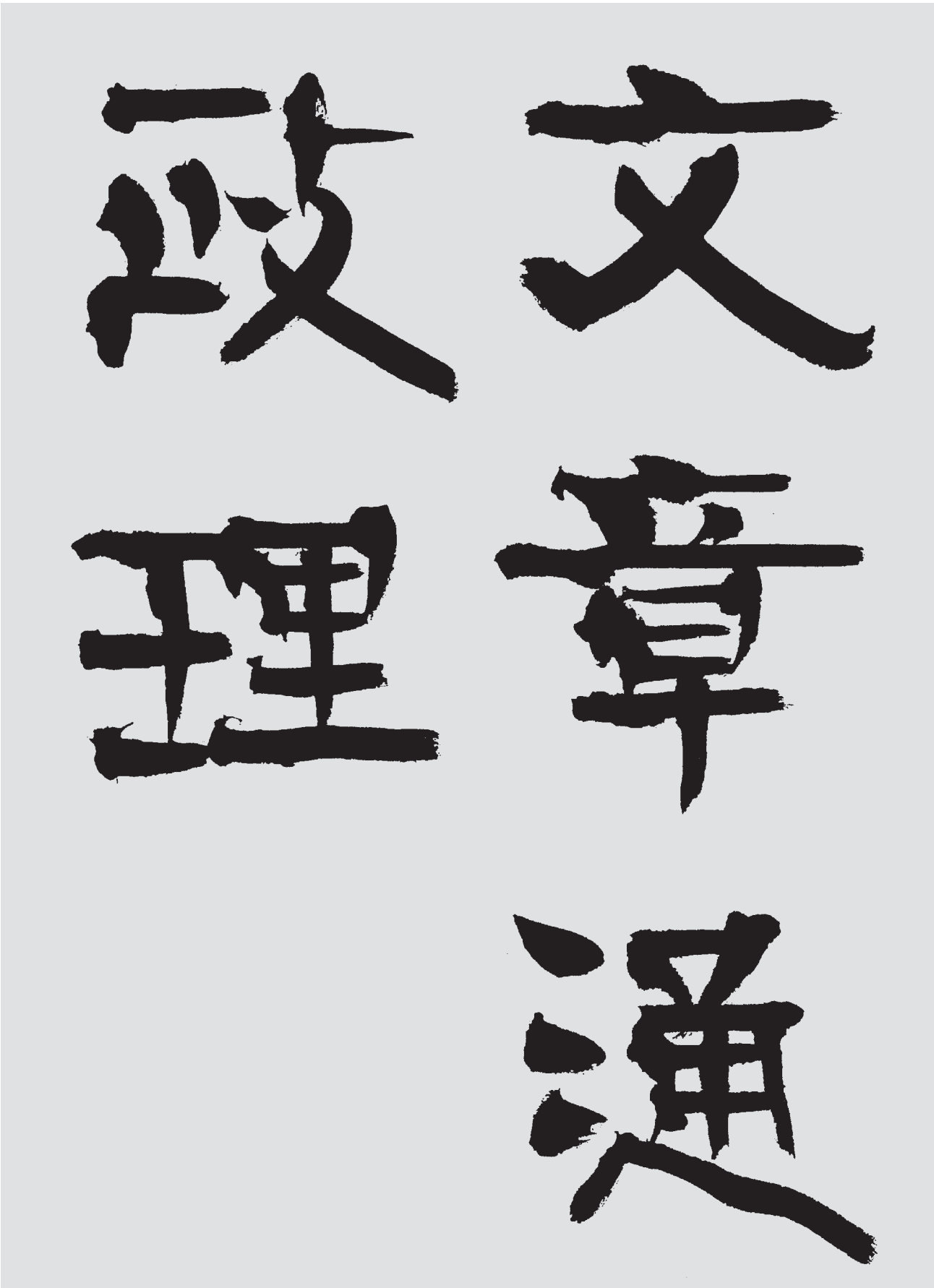
文章政理に通ず（文章は翰墨風流ばかりではなく、政治上の理にも通ずる。）

高 木 聖 雨 先 生

参 考 手 本

文章政理に通ず

高 木 聖 雨 先 生



※これは規定課題ではありません。

条幅かな

条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)

B部 (四段~準三段)

風はやみ雲のひとむら峰こえて山見えそむる夕立のあと (伏見院)

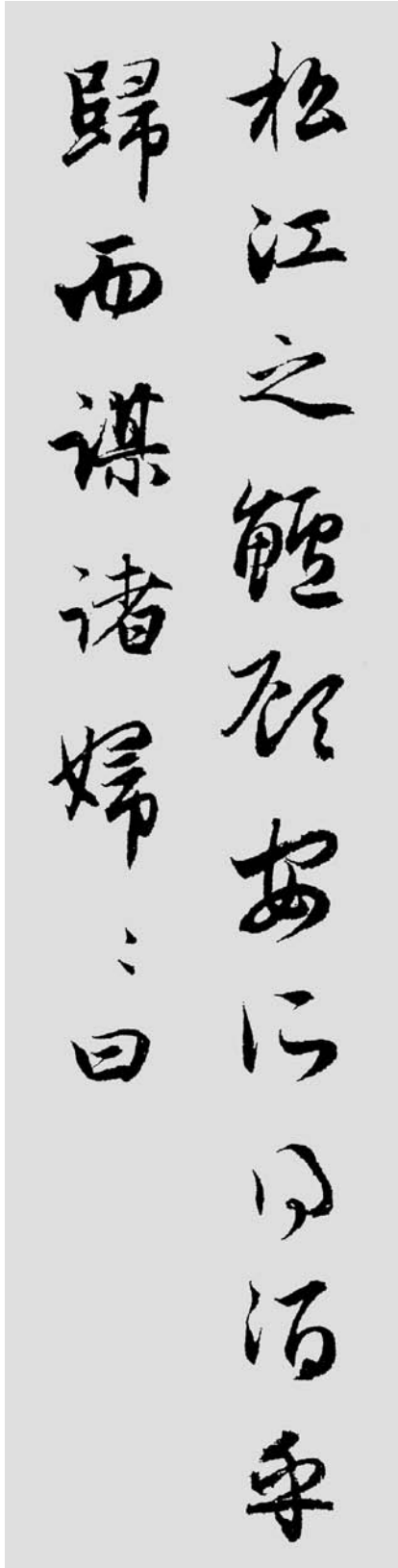


※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

前後赤壁賦 (元・趙孟頫)

松江之鱸顧安所得酒乎歸而謀諸婦々曰

浮 乘 清 郷 先生 書



道因法師碑 (唐・歐陽 通)

銅街暨於金地俯仰之際莫知所在咸謂善逝



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(7月10日締切)

半紙規定 (一)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



效靈介焉如

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書  
〔二級以下〕楷書

・ 靈を效す。  
・ 介焉として響の如く、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(7月10日締切)

半紙規定(二)

曹全碑(漢・作者不詳)



武都或居隴

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

武都におにお処り、  
或いは隴西ろうせいにお居り、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(7月10日締切)

条幅参考手本

星火乍明滅 螢光入檻流 近來渾少睡 夏夜長於秋  
 星火乍明滅 螢光入檻流 近來渾少睡 夏夜長於秋

大越三宗先生

青山前與後 白雲西又東 縱有經過客 消息應難通  
 青山前と後と 白雲西また東 縦い經過の客有るとも 消息応に通じ難かるべし

加藤紅雲先生

条幅参考手本

零落多依草  
芳香散著人  
低簷一枝在  
猶占滿堂春

江華書

細野江華先生

零落多依草 芳香散著人 低簷一枝在 猶占滿堂春  
花は落ちて草の間にかくれ、草は多く人の衣袂について去ったが尚低いのきばに一枝の花があつて春の名残りをとどめている。

主幹 菅野翠濤

菜の花畠に入日薄れ見わたす  
山の端霞ふかしく  
朧月夜より翠濤か

菜の花畠に入日薄れ見わたす山の端霞ふかし

半紙かな（初段以上）

おのづから涼しくもあるか夏衣日もゆふぐれの雨のなごりに（藤原清輔）

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

※ちらし文字変換は自由

支部名 段 姓 号（鉛筆可）

あつらふ夏衣りよりの  
なごりに  
すまじき  
すまじき  
すまじき  
すまじき

浮 乗 清 郷 先 生 書

（7月10日締切）



半紙かな (1級～8級)

山の色釣り上げし鮎に動くかな (原 石鼎)



後 藤 真 水 先 生

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由

(7月10日締切)

実用文（準三段以上）

山の姿は私達の散り易い心を  
集めてくれる家柄者へ統  
てを興えよう遠くを望みながら  
願ひを由を思ひ力を与えよう  
大地を踏む事を教えよう  
支部名 姓 号

〈書風任意〉

…集めてくれる亂みだれた者ものに…

山田翠阜先生

（7月10日締切）

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

今年も梅雨がやってくる。

梅の実が熟するころに降る長雨の

ことである。次世代に残りたい日本の

漢字文化の豊かきである。

支部名 級級 姓 号

田中奎堂先生

（7月10日締切）

細 字

※一級〜八級は草書まで。初段以上は隷書まで。

熟柿 赤く熟した柿。  
 累積 たくさん積み重ねる。

敗荷 枯れた蓮。

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

打	打	打	打
鼓	鼓	鼓	鼓
熟	熟	熟	熟
柿	柿	柿	柿
累	累	累	累
積	積	積	積
敗	敗	敗	敗
荷	荷	荷	荷
折	折	折	折
凋	凋	凋	凋

支 部

段

姓

号

# 硬筆（初段以上）

この度の東日本大震災にはただく驚き、  
お慰めの言葉もございせん。ご家族の皆様  
が揃ってご無事であったことに安堵しお  
ますもののご苦労を思ひますと胸が痛みます。  
取り急ぎ書中にてお見舞い申し上げます

支部名

段

姓 号

本院定型用紙一枚に書く

青柳江雲先生

（7月10日締切）

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

東日本大震災での被災地、被災者の  
皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本院定型用紙・たて半分に書く

齊藤 翡翠 流 先生

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

号

東日本大震災での被災地、被災者の  
皆様に心よりお見舞い申し上げます。

齊藤 翡翠 流 先生

（7月10日締切）

中2用

支部名 配牛

段級 達乳

名前 達乳の

田邊玉翠先生

中3用

支部名 判断

段級 良識

名前 判断の良識の

田邊玉翠先生

(7月10日締切)

小6用

支部名  
 段級  
 名前

交  
 通  
 全  
 安

朝平霞山先生

中1用

支部名  
 段級  
 名前

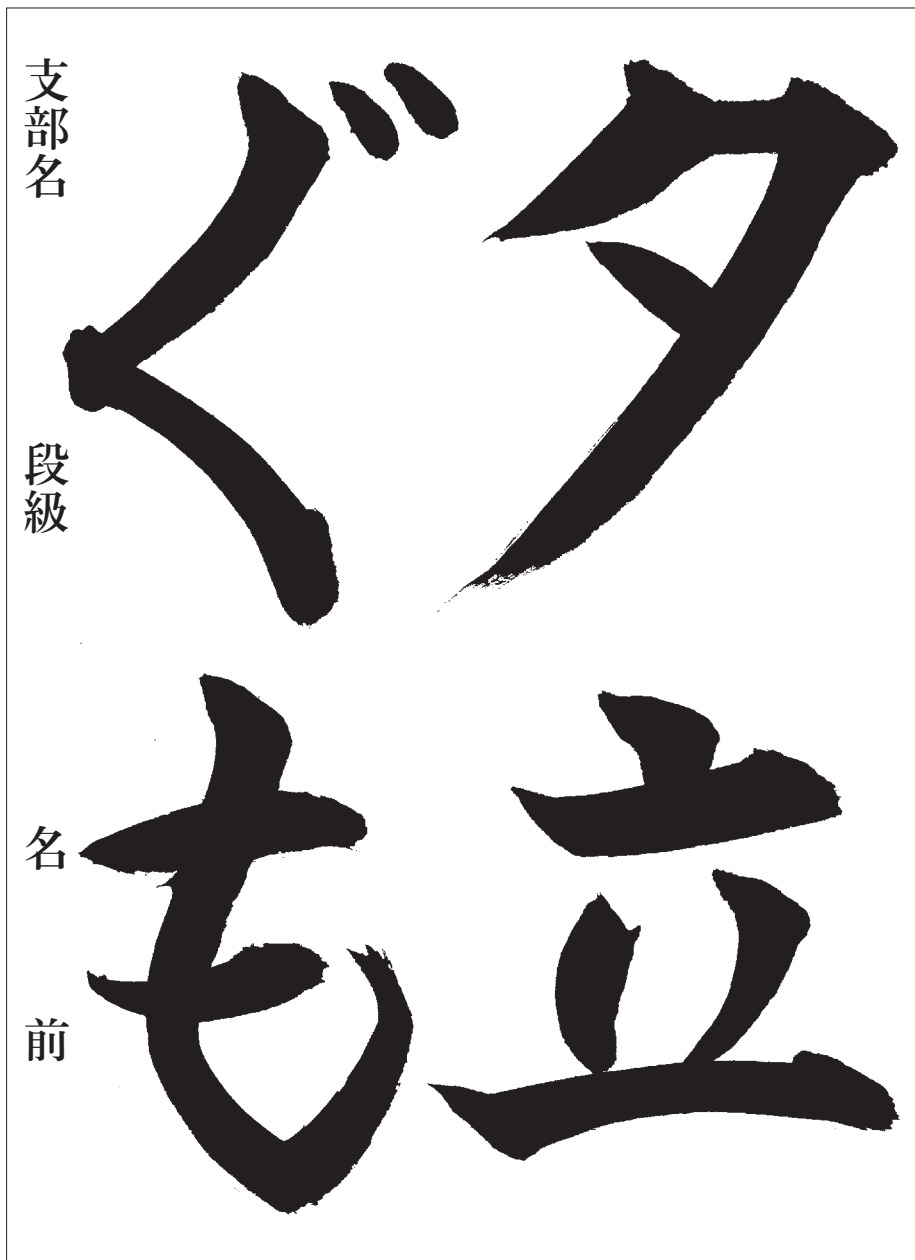
動  
 志  
 社  
 会  
 の

田邊玉翠先生

(7月10日締切)

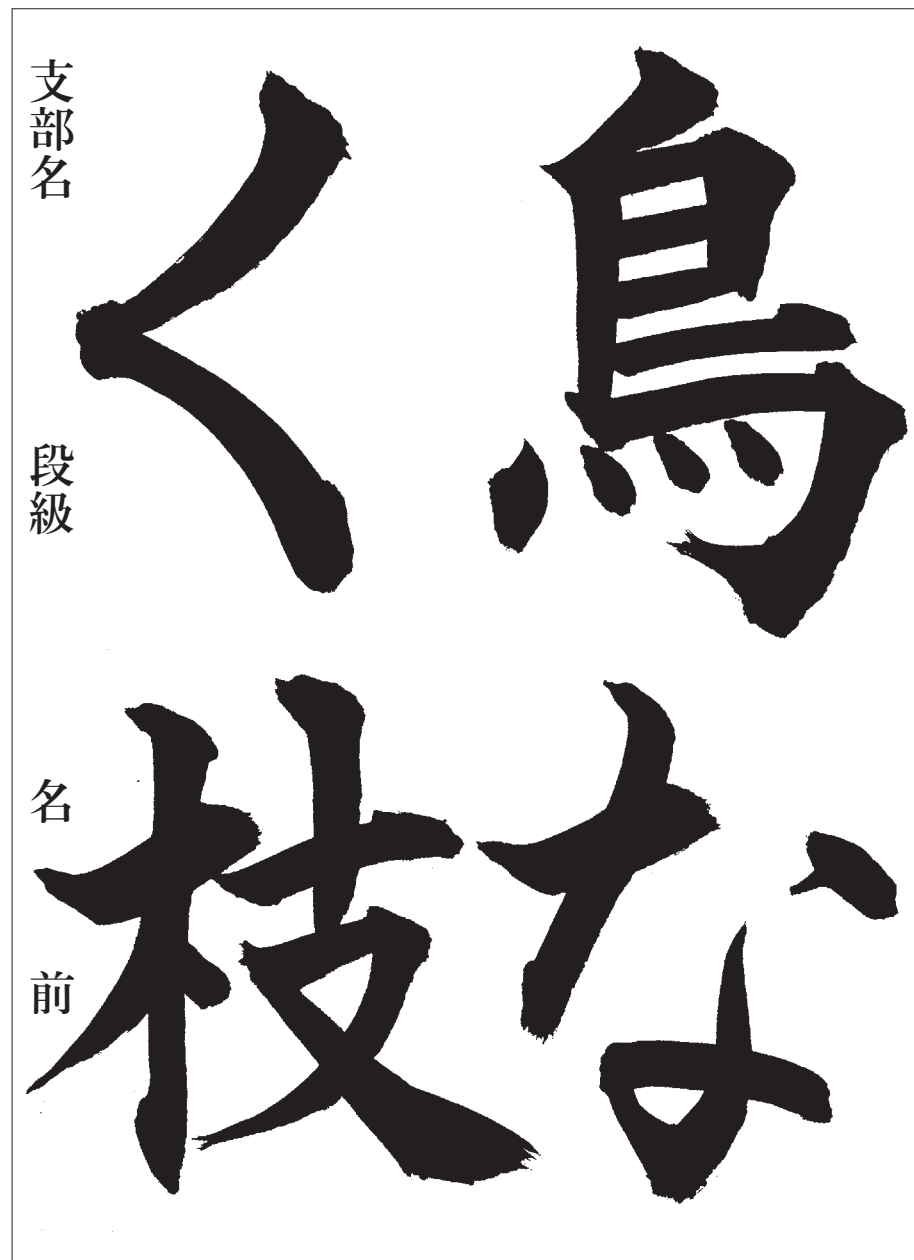


小4用



朝平霞山先生

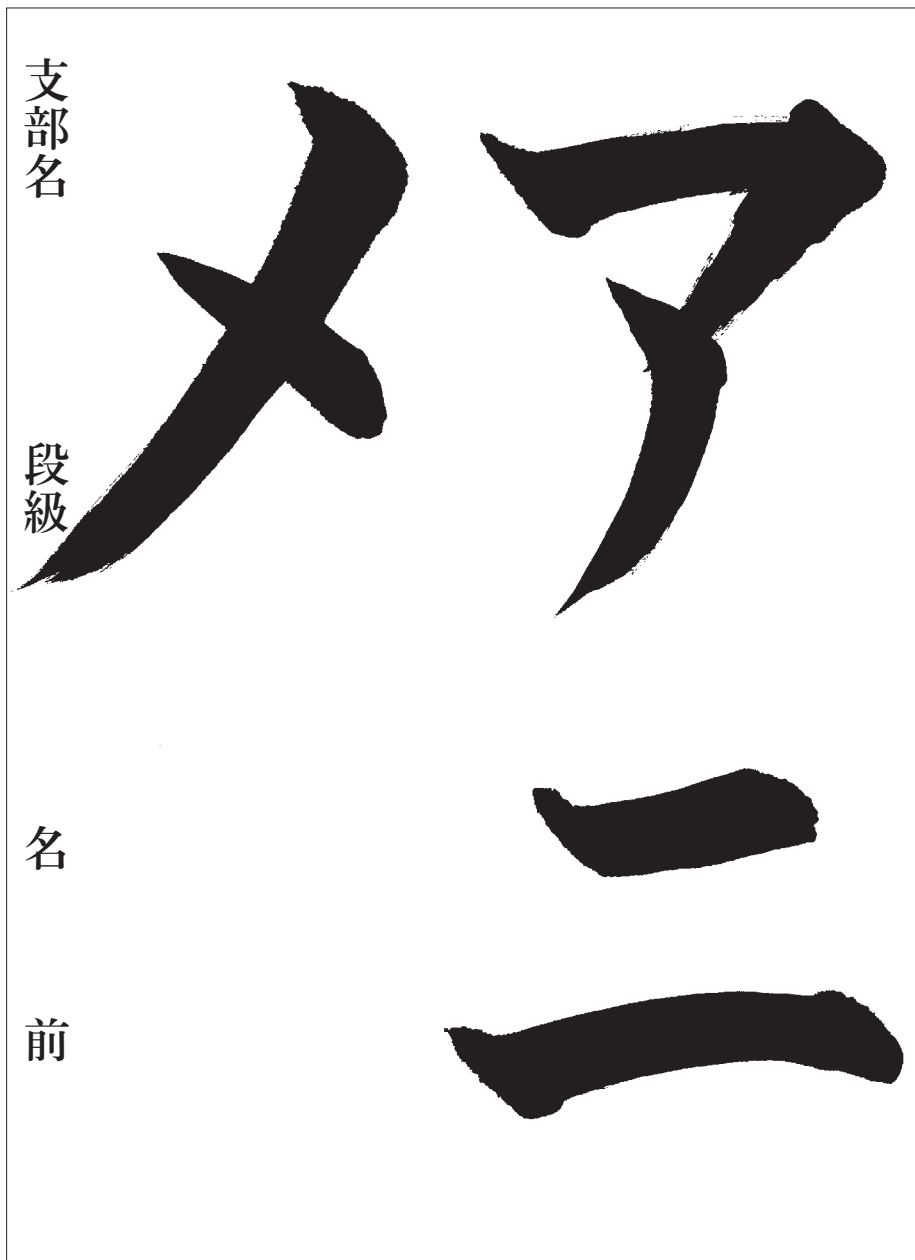
小5用



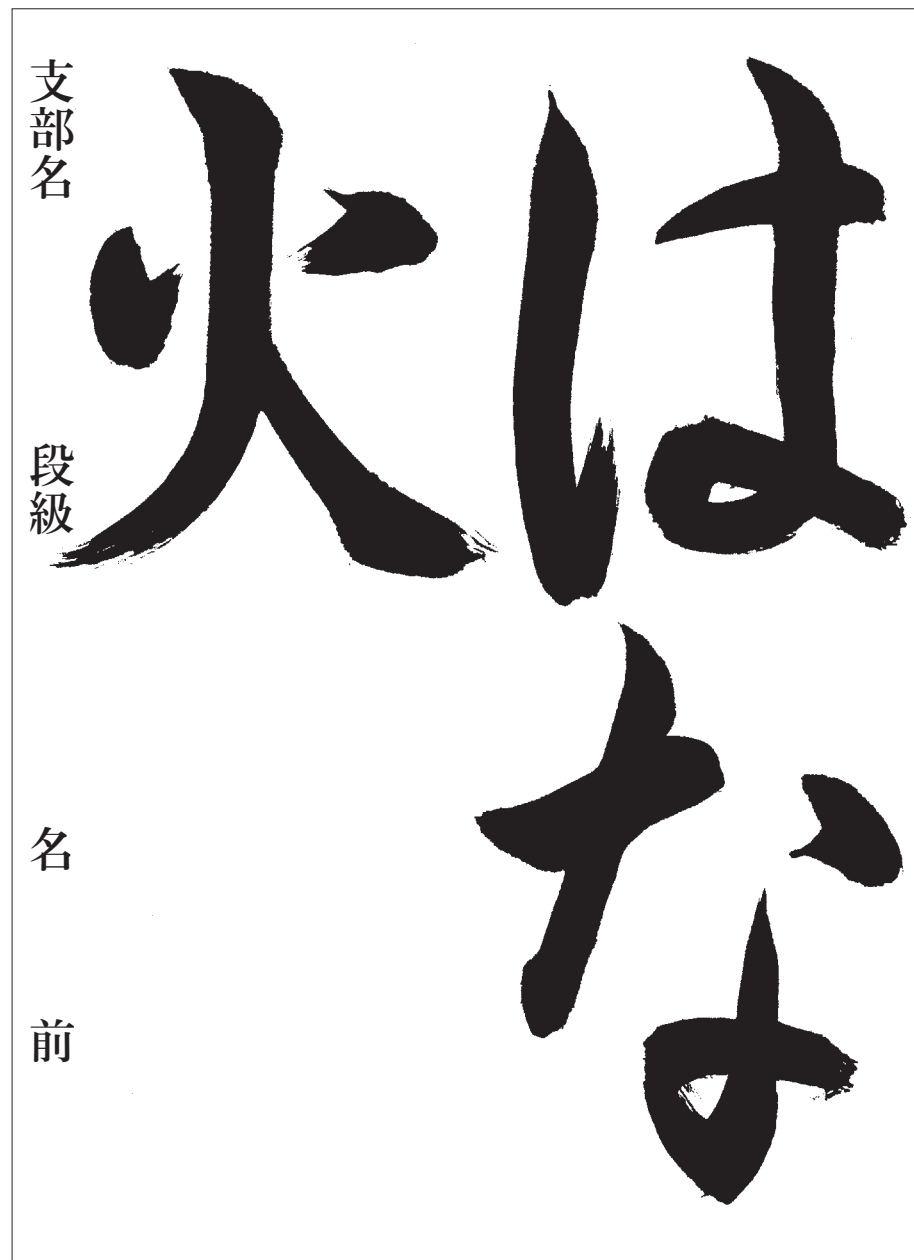
朝平霞山先生

(7月10日締切)

小2用



小3用



(7月10日締切)

中1

電車の窓から、水平線  
に美しい夕焼けを見た。

中2

努力なしに最大の効果を  
を生み出すことは無理。

中3

白馬の残雪や雷鳥は、  
絵葉書を思わせます。

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

やま

中1～中3

青柳江雲先生

(7月10日締切)

小1・幼年

あまのかわ  
ひこぼし  
おりひめ

小1～小3

小 2

でげん  
天気の良い日は  
そと  
あそぼう

若 月 久美子

小 3

を  
朝おきて  
毎日体そう  
しています

先 生

小 4

を  
物を生かすことは  
大切にする  
ことだ

小4～小6

小 5

を  
花の大きな役目は  
作ることで  
す

齊 藤 翡 流

小 6

や  
海底では  
火山の活動  
かくの変動がある

先 生

(7月10日締切)

## 小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

天の川  
七夕祭り

主幹 菅野翠濤

季語「夏山」

雄大な夏山の全景を、白い入道雲を背景とし、夏草の緑に横たわる岩石を対照的に描き出している。雄大で強烈な夏山の印象が表わされている句。

船久保 棠苑 先生

(7月10日締切)

## 中学部かな課題

支部名

段級

名

前

夏山也  
雲わらへる石よまた  
はる